

(1) (昭和21年2月5日第3種郵便物認可)

社説

二つの大きな話

総選挙が本番となったが、
 老岐地区の、自民党公認、
 前職、虎島和夫候補と新進
 党公認、前職、山田正彦候
 補の総決起集会が先にあつ
 た。虎島候補には野沢太三
 であり、東シナ海の資源を
 参議院議員、山田候補には
 細川護熙元内閣総理大臣が
 同行して応援演説をした。
 その主な内容は別の機会に
 譲るとして、二人の、大き
 な話、が面白かった。

野沢参議は国鉄出身のベリ
 テラシらしく、将来、老岐
 を經由する日本―韓国、海
 底トンネルが実現、運行さ
 れるだらう、と言った。細
 川元総理は、漁業振興の重
 要性にふれ、日本海は、池
 であり、東シナ海の資源を
 大切に―と説いた。

日本―韓国、海底トンネ
 ル計画は戦前にもあつたと
 言われ、最近では鳴りをひそ
 めているが、国際ハイウエ
 イ構想なるものが話題とな
 り、老岐でも試掘が一部行
 われたはどだった。野沢参

議が国際ハイウエイ計画と
関連があるのかどうかは知
らないが、そんな時代が来
るだろうと予言した。

細川元総理の日本海池論は二百カイル時代の重要
性を説くものでもあつた。
熊本県知事時代に天草で行
った海洋牧場に関連した話で、
シマアジはミュージシャン
・山下達郎さんの音楽に特
別な反応を示して集まるそ
うだ。東シナ海の資源保護
がまた重要だという。

二人の話に共通するのは、
老岐での演説ではあるが老
岐に関連した問題だといふ
ことである。英一仏間には
ドーバー海峡の海底トンネ
ルが実現した。日韓トン

ネルも夢ではなさそう。
しかし、と現実に戻らざ
るを得ない。東シナ海の尖
閣諸島に七日、台湾、香港、
マカオの領有権を主張する
活動家約二百人を乗せた抗
議船団が押し掛け、十余人
が一時上陸して中国旗や台
湾の旗を押し立てた――との
ニュースがテレビや新聞な
どで報じられている。日本
海には竹島問題が韓国との
間に未解決である。小さな
離島が国際紛争のもととなっ
ているのである。

また韓国では、朝鮮民主
主義人民共和国（北朝鮮）
の潜水艦が韓国領海で座礁
して武装兵二十六人が上陸
したとみられ、二十人が死

亡、なお銃撃戦が行われる
など緊張が続いている。尖
閣諸島や竹島の領有権問題
などが解決され、朝鮮半島
の統一はもちろん、世界平
和が確保されない限り日韓
トンネルなどあり得ないの
ではないか。

つまり、国際平和の追求
がなにより重要であつて、
それは東シナ海や日韓トン
ネル計画が直接老岐島と絡
んでいるように、決して遠
いよそごとでなく、足もと
の問題だと認識が必要であ
る。沖縄基地問題もそう
だが、防衛や外交問題がな
ぜ総選挙の主眼点になら
ないのだろうか。



発行所 苓岐日報社
 長 崎県 苓岐郡 郷ノ浦町
 電話 09204 ⑦ 0014番
 ファクシミリ ⑧ 1004番
 発行人 篠崎 学
 振替口座 福岡 1-10530
 発行 1.6.11.16.21.26
 (但し 2/26・12/26休刊)
 1ヵ月税・送料共 880円